

**第67回大磯西行祭
献詠俳句・短歌入選作決定!!**

皆さんから募集しました第67回大磯西行祭献詠俳句・短歌の各部門の入選作品が決定しました。選者の献詠された句・歌及び入選作品は次のとおりです。(敬称略・学校は応募時のもの)

【選者】

◎献詠句

本井 英

西行忌虎御前にも会釈して

山田 真砂年

ちくちくと飛砂が顔打つ西行忌

岸本 尚毅

この庵の庵主無事なり地虫出づ

山西 雅子

木の間より白波の穂や西行忌

今村 妙子

花の雨本降りとなり円位の忌

◎献詠歌

今井 恵子

白墨に指よごしつつ直線は美

しいだろつと先生ありき

花山 多佳子

晝はなる鱗描かれて児の竜は

くつきりとゆく今年の葉書に

【応募入選作品】

◎献詠俳句

〈一般の部〉

応募総数421句

第一位 東京都文京区

岡本 千晶

退院のタフシーに入る冬日かな

第二位 神奈川県茅ヶ崎市
長島 久江

方言に慣れてくる子や山笑ふ

第三位 神奈川県茅ヶ崎市

塚本 治彦

御用邸続きの磯や鹿尾菜刈

第四位 東京都目黒区

戸上 晶子

願はくば藻屑となりて西行忌

〈小学生の部〉

応募総数27句

第一位 大磯町立大磯小学校

梅山 容子

さくらがい浜で見つけたたか

らもの

第二位 平塚市立富士見小学校

西海 伸哉

黄金虫食べる葉っぱは針葉樹

第三位 学校法人燈影学園一燈園小学校

太田 慈

クマみたいふとんかんそう

だっこする

第四位 大磯町立大磯小学校

深澤 龍ノ介

白い息機関車みたいだ走る僕

〈中学生の部〉

応募総数73句

第一位 済美平成中等教育学校

川口 心美

教科書の落書き消すや春近し

第二位 済美平成中等教育学校

小原 杏奈

弦緩み締めては緩み冬麗

第三位 美馬市立江原中学校
坂本 梓

そぞろ寒正義正義と拳挙げ

第四位 星野学園中学校(埼玉県)

柿沼 さくら

ほつくほくのかぼちゃの煮物

心まで

〈高校生の部〉

応募総数270句

第一位 愛知県立時習館高等学校

山田 ひなの

陽だまりの中へ中へと寒雀

第二位 岩手県立水沢高等学校

引地 佳歩

指文字の「の」まで覚えて春

近し

第三位 徳島県立脇町高等学校

日浦 和美

霜下りてガラスを伝う小さき手

第四位 徳島県立脇町高等学校

仁尾 夏子

茶とワイン暖炉の前で今日の

こと

◎献詠短歌

〈一般の部〉

応募総数252首

第一位 石川県金沢市

渡邊 美愛

いもつとの胸にちいさき白百合

を置いて祖父母は葬場を出づ

第二位 京都府京都市

小池 ひろみ

近づけば静かに香り始めたり

夜の窓辺に置かれし柚子は

第三位 愛知県岡崎市
西村 愛美

お互いの母ほどよき思い出を

従姉妹と語る法要のあと

第四位 神奈川県愛甲郡

富田 茂子

晩秋の陽に柿の実のあかあか

と照りいる戦火なき国に在り

〈小・中学生の部〉

応募総数48首

第一位 岩沼市立岩沼中学校

後藤 嘉杏

嘘ついてみんなの期待に応え

では見えなくなった本当の自

分

第二位 岩沼市立岩沼中学校

清水 柊平

世界ではいろんな話題が交差

するまたたく幾千の流星群の

よう

第三位 山口大学教育学部附属

光中学校

横道 玄

キャッチしたはずのボールが

ネット揺らすわずかでいいん

だ時を戻して

第四位 大磯町立大磯小学校

宇野 美咲

赤とんぼ羽をなびかせ空をと

ぶすばしっこくてつかまらな

いよ

〈高校生の部〉

応募総数246首

第一位 星野高等学校(埼玉県)

齊藤 栞

背が高くなった気がして歯磨

きをする兄の横また立ってみ

る

第二位 滋賀県立膳所高等学校

池田 玲亜

君の髪、腕、足、瞳持ってい

る人でも君にはなれなかった

第三位 徳島県立脇町高等学校

阿部 夕希乃

セーラー服腕を通した瞬間に

ふと感じる冬の訪れ

第四位 神奈川県立光陵高等学校

佐野 晃太

「最近の若者は」なんていう

けれど芋煮が好きな僕もいま

すよ

問

産業観光課 ☎内線334

鳴立庵 ☎(61)6926

